

## 第7部

# 教育



- 138 学校数
- 139 児童・生徒数
- 140 1教員当たりの児童・生徒数
- 141 子どもの学力
- 142 子どもの体力
- 143 子どもの学習意欲
- 144 子どもの意識
- 145 不登校児童生徒数
- 146 いじめの認知件数
- 147 高等学校卒業者の進路
- 148 大学等進学率





# 学校数

## 前年度に比べ小学校、中学校および各種学校は減少、義務教育学校、専修学校は増加

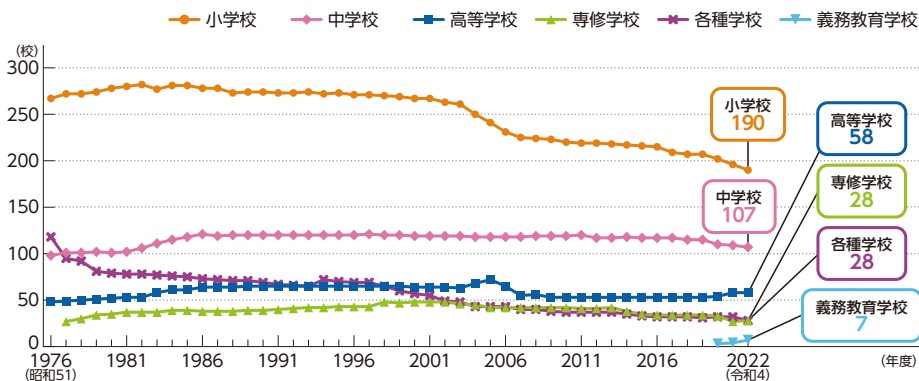


2022(R4)年5月1日現在の奈良県の学校数は、小学校は190校、中学校は107校、義務教育学校は7校、高等学校(全日制・定時制)は58校、専修学校は28校、各種学校は28校です。

●義務教育学校…学校基本法の改正(2016(H28)年4月1日施行)により創設された、小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行う学校。

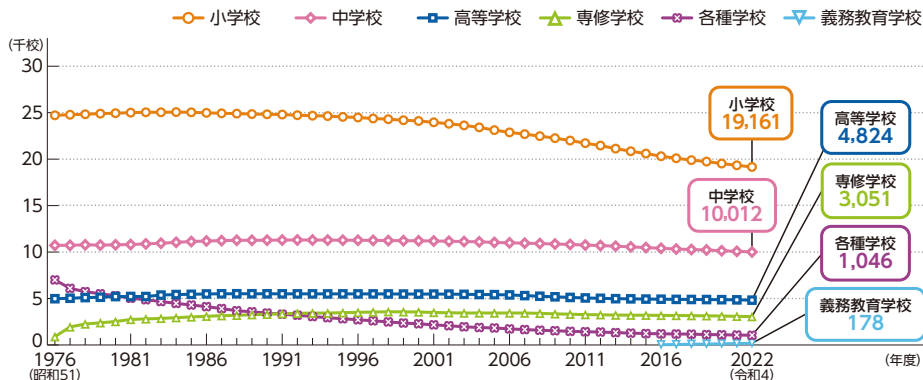
### 奈良県の学校数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」



### 全国の学校数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





# 児童・生徒数

## 小学校・中学校・高等学校の児童・生徒数は減少



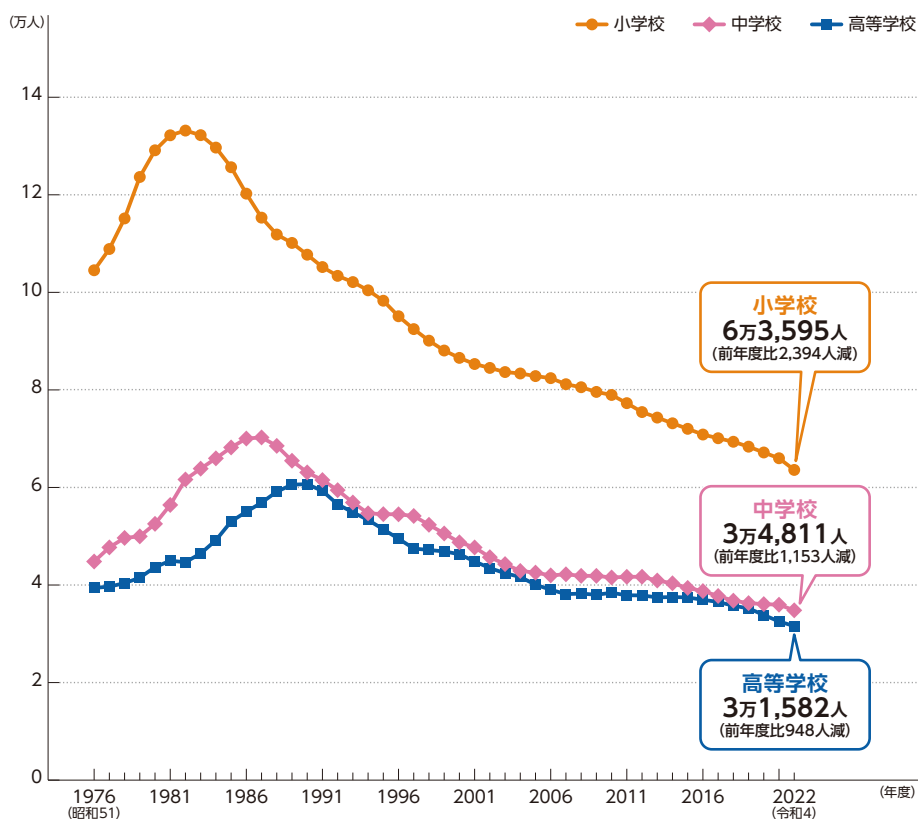
2022(R4)年5月1日現在の小学校の児童数は6万3,595人、中学校の生徒数は3万4,811人、高等学校の生徒数は3万1,582人です。

2022(R4)年5月1日現在の小学校の児童数は前年度より2,394人減少、中学校の生徒数は前年度より1,153人減少、高等学校の生徒数は前年度より948人減少しました。

小学校の児童数は、1982(S57)年度の13万3,167人をピークに減少を続けています。中学校生徒数のピークは、1987(S62)年度の7万2,566人、高等学校生徒数のピークは1990(H2)年度の6万6,788人となっています。

### 児童・生徒数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





## 1教員当たりの児童・生徒数

## 1教員当たりの児童・生徒数は、小学校13.2人、中学校12.6人



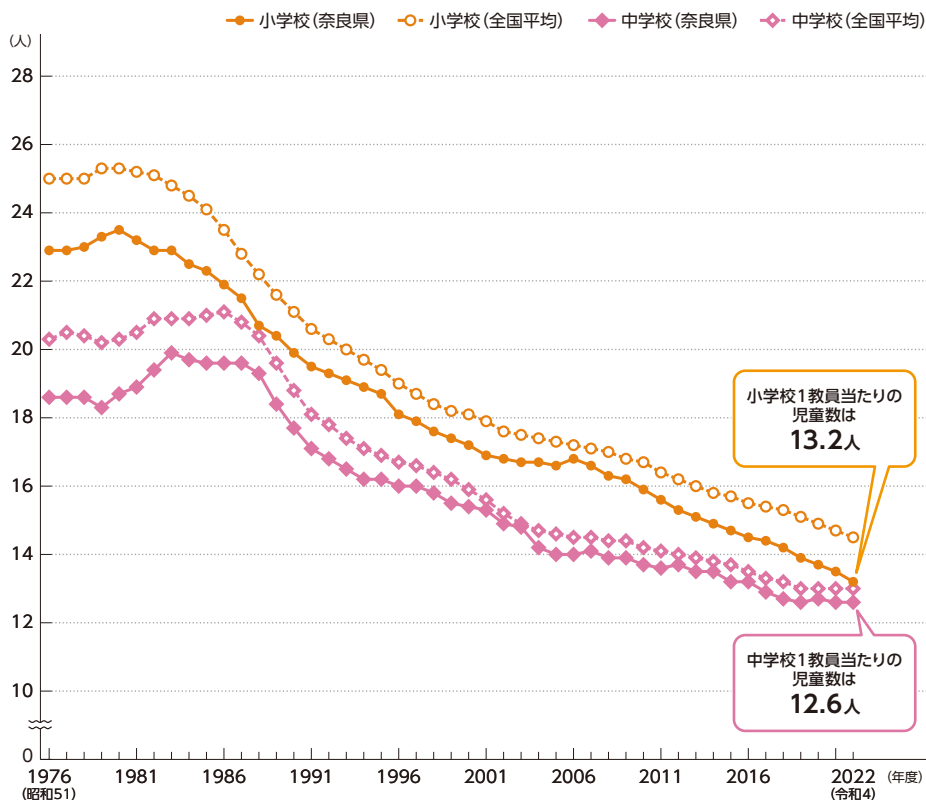
2022(R4)年5月1日現在の奈良県の小学校教員数は4,807人で、1教員当たりの児童数は13.2人となり、中学校教員数は2,771人で、1教員当たりの生徒数は12.6人となりました。

小学校は前年度と比べて教員数が88人減少し、1教員当たりの児童数は0.3人減少して13.2人となりました。なお、全国平均は、14.5人となっています。

また、中学校は前年度と比べて教員数が73人減少し、1教員当たりの生徒数は前年度と同じ12.6人となりました。なお、全国平均は、13.0人となっています。

## 1教員当たり児童・生徒数の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」





## 子どもの学力

### 子どもの学力は、ほぼ全国平均並み



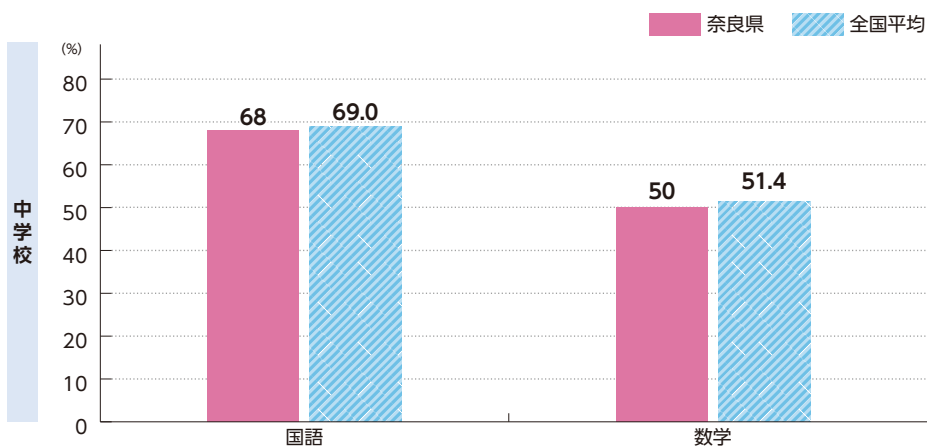
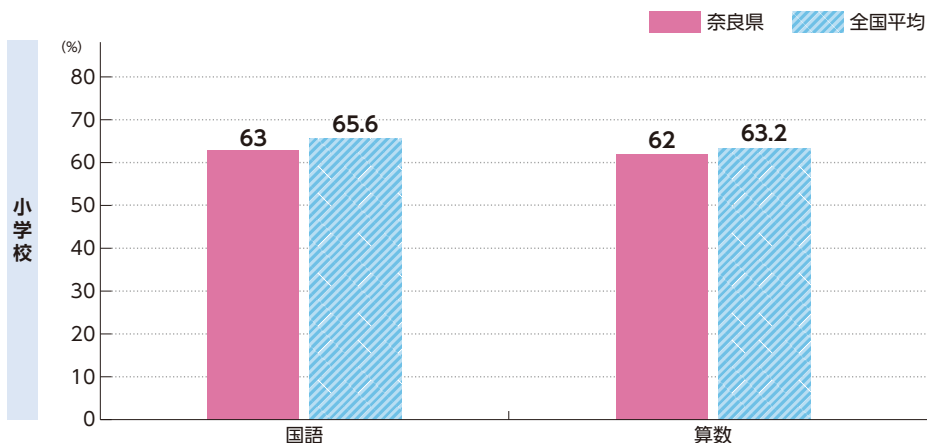
令和4年度全国学力・学習状況調査では、小学校国語・算数、中学校国語・数学ともに、全国平均をやや下回っています。

※1 平成31(令和元)年度から、「知識」、「活用」に関する問題を一体的に出題。

※2 各都道府県の正答率は整数値で公表されているため、グラフにある奈良県の数値は整数値となっている。

#### 平均正答率(2022(R4)年度)

資料：文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」





# 子どもの体力

## 子どもの体力は、ほぼ全国平均並み



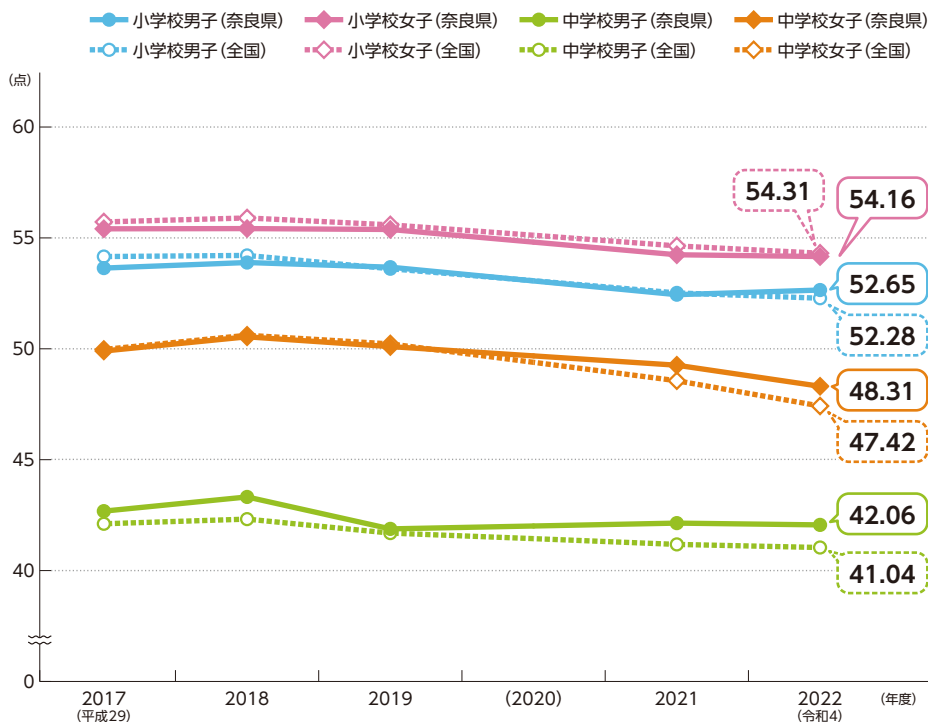
体力合計点は、小学校、中学校の男女ともに2016(H28)年からほぼ全国平均並みです。

2022(R4)年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、奈良県の中学校男子の体力合計点は、42.06で、全国平均値を1.02ポイント、中学校女子の体力合計点は、48.31で、全国平均を0.89ポイント上回っています。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国平均は2019年度から低下傾向となっています。

- **体力合計点**…握力、50m走等の種目別得点表に基づき、各種目の得点を合計したものの。
- 2020(R2)年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、調査中止。

### 子どもの体力

資料：スポーツ庁「令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」



※調査の対象とする児童生徒 小学校調査：小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生。  
中学校調査：中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生。



# 子どもの学習意欲

## 子どもの学習意欲は、ほぼ全国平均並み

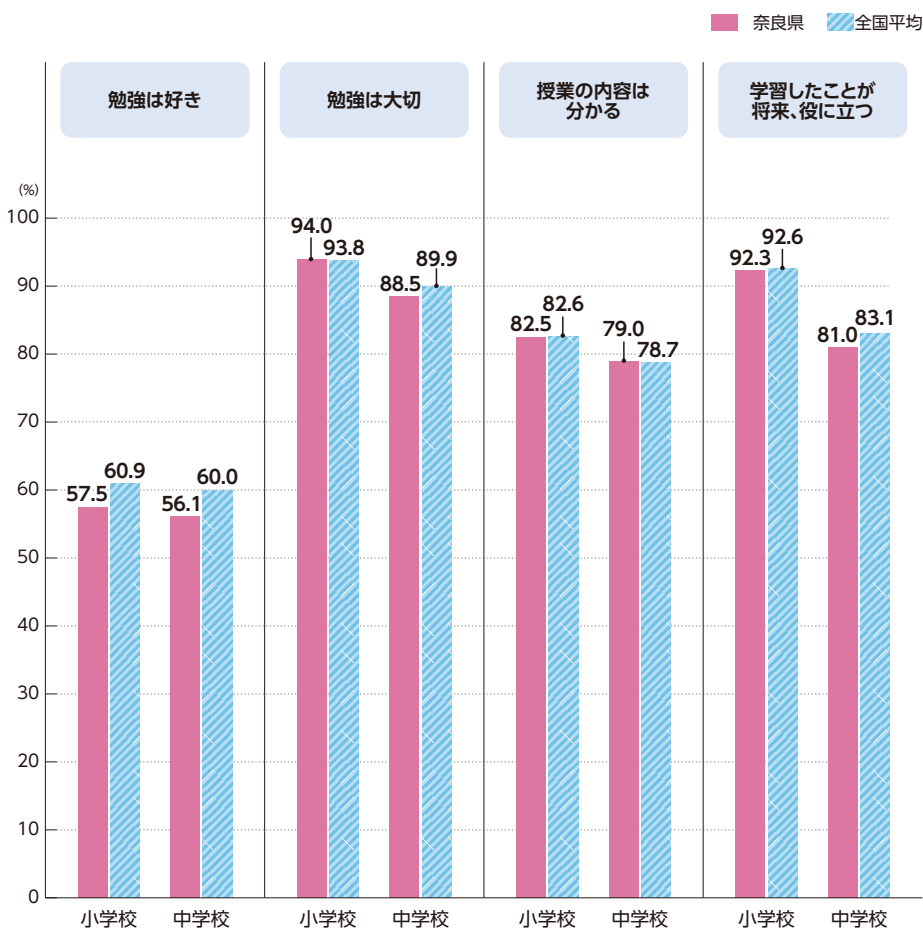


令和4年度調査時の子どもの学習意欲(好き、大切、分かる、役に立つ)は、小学校、中学校ともにすべての項目でほぼ全国平均並みです。

学習意欲に関する4項目に、肯定的に回答する児童生徒の割合の全国平均との差は、小学校は-3.4~0.2ポイント、中学校は-3.9~0.3ポイントでした。

### 子どもの学習意欲(2022(R4)年度)

資料：文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」





# 子どもの意識

## 子どもの意識に関する各項目について「当てはまる」と回答した割合は、ほぼ全国平均並み



令和4年度調査時の子どもの意識に関する各項目について「当てはまる」と回答した割合は、ほぼ全国平均並みです。

小学校では、「人の役に立つ人間になりたい」の項目が全国平均を上回りました。小学校及び中学校で最も全国平均との差が大きかった項目は、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」でした。

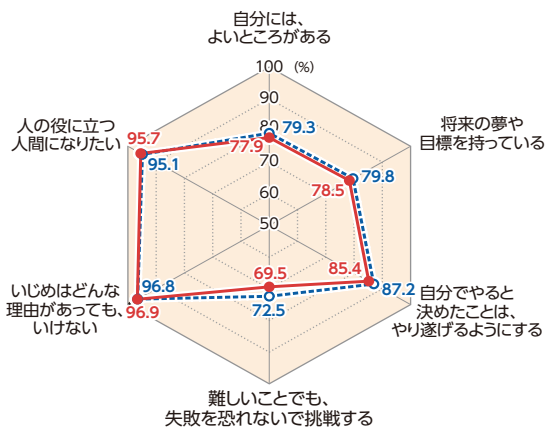
### 子どもの意識 (2022 (R4) 年度)

資料：文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」

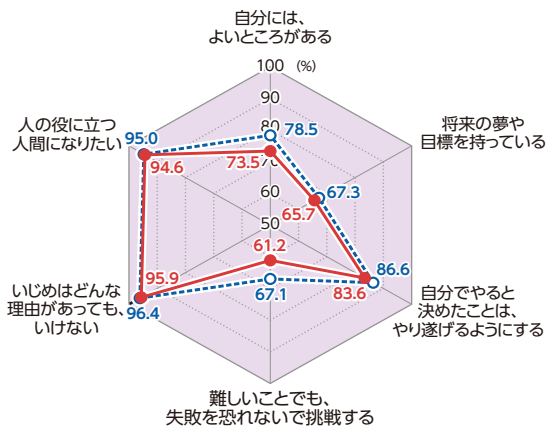
● 奈良県 ○ 全国

※ 「当てはまる」と回答した割合とは、「当てはまる」と「やや当てはまる」の合計。

#### 小学校



#### 中学校







## 不登校児童生徒数

## 不登校は小学校・中学校ともに5年連続の増加



2021(R3)年度の国公立立小・中学校における不登校児童生徒数は、小学校が1,013人(前年比258人増)、中学校が1,988人(前年比394人増)であり、小学校、中学校ともに5年連続の増加となりました。

各学校では、不登校児童生徒の減少に向けて、校内研修などを積極的に実施しています。

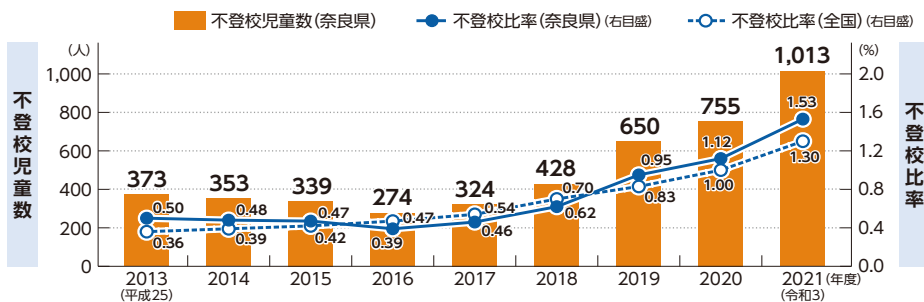
スクールカウンセラーを県内公立中学校に全校配置し、必要に応じて校区内の小学校からの相談にも応じています。不登校やいじめ問題等で悩む児童生徒やその保護者に対する支援を行うだけでなく、教職員が教育相談についての理解を深めるなど、各学校の教育相談体制が充実しています。

また、電話教育相談、メール相談「悩みならメール」、SNS相談「なら Cocoro ライン(期間限定)」、ヤングケアラーメール相談窓口等、児童生徒・保護者が相談できる窓口を開設しています。

2023(R5)年度からは、オンラインを中心としたネットワーク型の柔軟な教育システム「不登校支援のための奈良県ネットワーク型フレキシスクール」を県PTA協議会と共同で運営し、不登校が長期化している中学生を対象にICTを活用した柔軟な学びの場を提供しています。

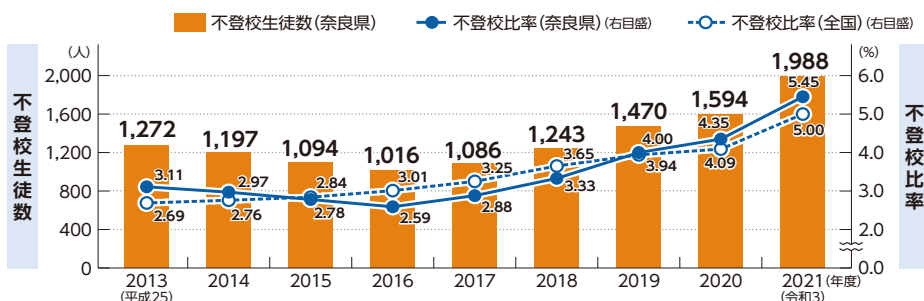
## 小学校の不登校児童数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」



## 中学校の不登校生徒数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」





## いじめの認知件数

### 個々の事象をより丁寧に把握し、 いじめ見逃しゼロの学校を目指す



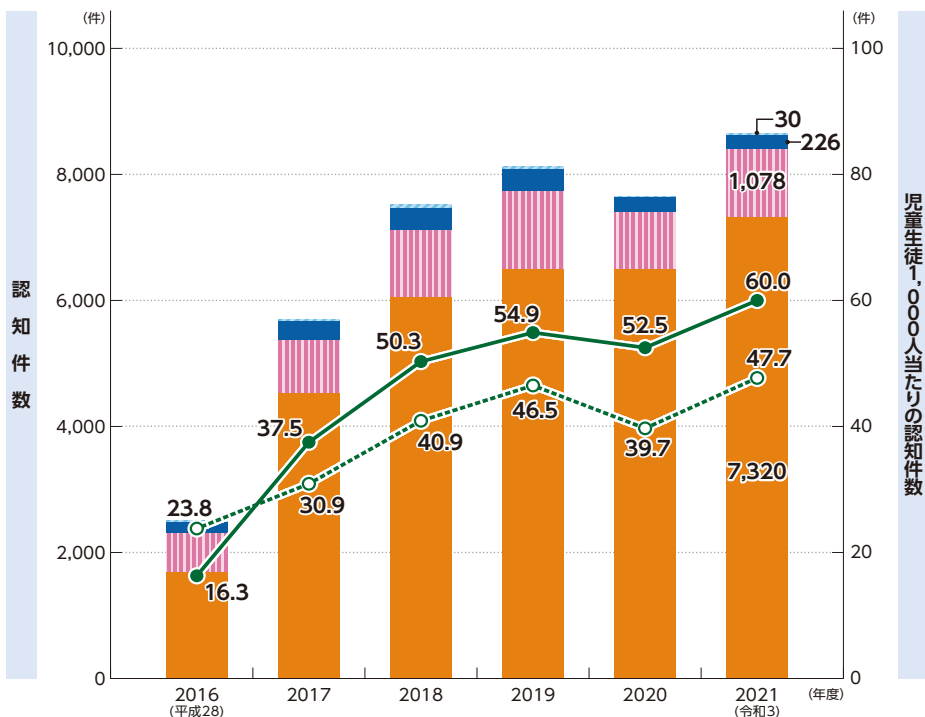
軽微で些細ないじめの状況も積極的に認知し、組織的な早期対応と継続したきめ細かな見守り等に努めます。

2013(H25)年に「いじめ防止対策推進法」が施行され、法に定められた「いじめの定義」に基づき、各学校が軽微ないじめも積極的に認知しているため、いじめ認知件数が近年、大幅な増加傾向となっています。県では2021(R3)年3月「奈良県いじめ防止基本方針」を改定し、「いじめの積極的認知」が必要であることを追記し、早期対応につなげ、いじめが深刻化・重篤化することを防いでいます。

### いじめの認知件数の推移

資料：文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 特別支援学校
- 児童生徒1,000人当たりの認知件数(奈良県)(右目盛)
- 児童生徒1,000人当たりの認知件数(全国)(右目盛)





## 高等学校卒業者の進路

高等学校卒業者の進路について、進学率は81.2%で卒業者に占める就職者の割合は10.2%



2022(R4)年3月の高等学校卒業者の進路別内訳をみると、大学・短期大学等への進学率は63.4%、専修学校(専門課程)進学率は12.7%、専修学校(一般課程)等入学率は5.1%、卒業者に占める就職者の割合は10.2%、左記以外は8.7%となっています。

2022(R4)年3月の高等学校卒業者総数は1万939人で前年と比べて241人減少しました。

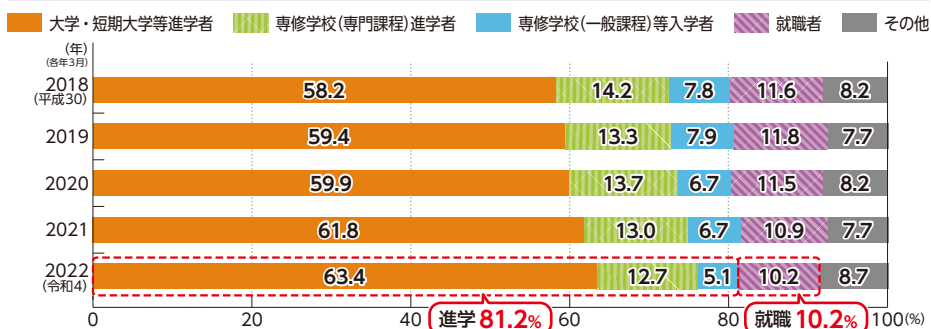
進路別男女内訳は、大学・短期大学等への進学率は男子62.3%・女子64.5%、専修学校(専門課程)進学率は男子9.7%・女子15.8%、専修学校(一般課程)等入学率は男子6.0%・女子4.2%、卒業者に占める就職者の割合は男子12.2%・女子8.0%となっています。

全国平均と比べて大学・短期大学等への進学率が、男女ともに高くなっています。

※卒業者に占める就職者の割合には、進学しながら就職した者を含まない。

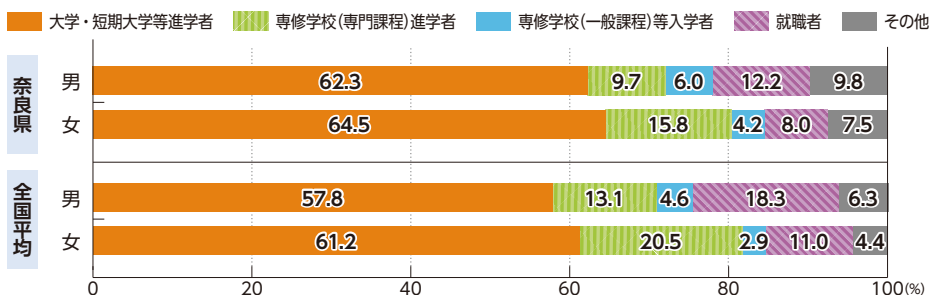
### 進路別割合の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」



### 男女別の進路別割合(2022(R4)年3月卒業生)

資料：文部科学省「学校基本調査」





## 大学等進学率

大学・短期大学等進学率は63.4%で、  
男女ともに全国平均を上回る

2022(R4)年3月の高等学校卒業者の大学・短期大学等への進学率は63.4%と前年と比べて1.6ポイント上昇し、全国順位は7位(2021(R3)年7位)でした。

男女別にみると男子は前年より2.0ポイント上昇の62.3%(全国57.8%)で全国8位(2021(R3)7位)、女子は前年より1.1ポイント上昇の64.5%(全国61.2%)で全国7位(2021(R3)7位)でした。

奈良県の進学率は、男女ともに全国平均より高い傾向にあり、また、奈良県、全国ともに女子の方が男子より高くなっています。

## 大学・短期大学等への進学率の推移

資料：文部科学省「学校基本調査」

